

2024年度 宇治市自立支援協議会はたらく部会活動報告

1. 部会の目的

障害のある方たちも 障害のない方たちと共に働き暮らせる地域をつくるため、障害福祉に係る関係機関及び 障害がある方たちの就労を支える地域企業等が情報共有し、地域の課題解決に向け協議を行う専門部会。障害のある人の多様なはたらきについて、対角線モデル（日本障害者協議会常務理事 藤井克徳氏提唱）での就労支援を学び解決していく。

2. 活動概要

部会員相互の活動内容を知り 相互理解と連携に努めることを通して、地域課題の共有や、職員の資質向上を目的とした勉強会、必要に応じて、課題解決のための調査や、行政への要望などをおこなっている。また山城北圏域就労支援部会とも連携している。

3. 主な参画団体

福祉サービス等事業所 **21 箇所**（生活介護、就労 A,B、就労移行、地域活動支援センター）
企業 **1 箇所**、障害者就業・生活支援センター、宇治公共職業安定所、宇治支援学校、
宇治市障害福祉課 **4 箇所** **計 26 箇所**

4. 今年度の部会開催日及び開催内容

	開催日	開催内容
1	4 月 26 日	運営委員会
2	5 月 23 日	全体会議 事業所紹介（さびゅいえ・Bee!）
3	6 月 27 日	運営委員会
4	8 月 1 日	全体会議 事業所紹介（リタリコワークス・F∞I スイート）
5	8 月 21 日	運営委員会
6	9 月 26 日	全体会議 事業所紹介（じじむげ・スマイルワーク）
7	10 月 24 日	運営委員会
8	11 月 19 日	全体会議 事業所紹介（シオン・エムテック）
9	12 月 26 日	運営委員会
10	1 月 22 日	全体会議 事業所紹介（つくりて工房） 作業確保状況と地域連携に向けた意識調査について
11	2 月 27 日	運営委員会
12	3 月 28 日	全体会議 事業所紹介（未定） 来年度の活動内容の検討

5. 現状と次年度以降への課題

一昨年度より実施している部会員事業所の「自己評価表」を各部会員で共有した。
また、年間を通して部会員間の相互理解と連携強化を目的に、全体会毎に 2 事業所/回の順番で事業の活動紹介及び課題の報告を行った。
その他、部会員事業所から作業確保と地域連携についての提案を受け、「作業確保状況と地域連携に向けた意識調査」を実施。調査結果に基づき、共通の課題を有する事業者によるワーキングチームを編成し課題解決に努めることを確認した。